

貸借対照表
(2025年12月31日現在)

単位:千円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I. 流 動 資 産	76,628	流 動 負 債	13,588
現 金 及 び 預 金	12,309	未 払 金	2,197
前 払 費 用	1	未 払 費 用	9,946
未 収 入 金	1,213	未 払 法 人 税 等	217
預 け 金	63,103	預 り 金	176
II. 固 定 資 産	526	役 員 賞 与 引 当 金	1,050
無 形 固 定 資 産	526	負 債 合 計	13,588
ソ フ ト ウ エ ア	526	(純資産の部)	
		株 主 資 本	63,566
		(1) 資 本 金	100,000
		(2) 資 本 剰 余 金	20,000
		そ の 他 資 本 剰 余 金	20,000
		(3) 利 益 剰 余 金	△ 56,433
		そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 56,433
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 56,433
		純 資 産 合 計	63,566
資 産 合 計	77,154	負 債 純 資 産 合 計	77,154

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

(自 2025 年 3 月 31 日 至 2025 年 12 月 31 日)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産 …………… 該当事項はありません。
- ②無形固定資産 …………… 定額法によっております。なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(2) 引当金の計上基準

- 役員賞与引当金 …………… 役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

ホテルの開業に係るテクニカルサービスの提供を行っております。これらは、契約内容に応じたサービスの提供を行うことで履行義務が充足されると判断しており、当該サービスの提供に従い一定の期間にわたり収益を認識しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 の株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 の株式数
普通株式	—	120,000 株	—	120,000 株

(2) 剰余金の配当に関する事項

①配当金支払額等

該当事項はありません。

②基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌事業年度になるもの

該当事項はありません。

3. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報は、「1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記（3）収益及び費用の計上基準」に記載のとおりです。

4. 1株当たり情報に関する注記

（1）1株当たり純資産額	529 円 72 銭
（2）1株当たり当期純損失	470 円 28 銭